

正 会 員 各 位

(一社) 全国LPガス協会

貨物自動車における荷役作業時の墜落・転落防止対策の充実に係る  
労働安全衛生規則等の改正について (お知らせ)

標記につきましては、陸上貨物運送事業における労働災害の発生件数は増加傾向にあり、特に荷役作業に係る労働災害が多発していることを踏まえ、厚生労働省において安全対策に関する検討会を立ち上げ、陸上貨物運送事業労働災害防止協会では報告書が取りまとめられました。

この度、その報告書を踏まえ、省令改正等が令和5年3月28日に公布され、同年10月1日(一部規定は令和6年2月1日)施行となりました。

つきましては、都道府県協会におかれましては会員に対し、また直接会員におかれましては営業所等に対し、ご周知くださいますようお願いいたします。

記

【概要】

1. 昇降設備の設置及び保護帽の着用が必要な貨物自動車の範囲の拡大

貨物自動車に荷を積み卸す作業を行うときに、昇降設備の設置や保護帽の着用が義務付けられる貨物自動車の範囲が、最大積載量2トン以上の貨物自動車となります。(改正前は最大積載量5トン以上)

ただし、最大積載量が2トン以上5トン未満の貨物自動車では保護帽の着用が義務づけられるのは、あおりのない荷台を有する貨物自動車、平ボディ車、ウィング車など、荷台の側面が開放できるものや、テールゲートリフターが設置されている貨物自動車、テールゲートリフターを使用するときに限られます。

2. テールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業への特別教育の義務化

貨物自動車に設置されているテールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業におけるテールゲートリフターの操作の業務が、労働安全衛生法第59条第3項に基づく特別教育の対象となります。令和6年2月1日以降は、カリキュラムによる特別教育を受けた者でなければ、テールゲートリフターを使用した荷役作業を行うことができなくなります。

本改正及び特別教育に関する内容は「陸上貨物運送事業労働災害防止協会（陸災防）」のホームページに掲載されております。

<http://rikusai.or.jp/>



以 上

（発信手段：Eメール）

担当：保安・業務グループ 瀬谷、橋本